

D-5 「3R とプラスチック問題について考えよう♪」

～マイクロプラスチックと私たちの暮らし～

講義担当:生活協同組合パルシステム神奈川

講座対象者	□小学校低学年 ■小学校中学年 ■小学校高学年 ■放課後施設利用児童 □中学生 □高校生 □大学生 □地域一般		
授業活用例	小学校高学年「家庭科:環境に配慮した生活」「理科:生物と環境」「社会科:わたしたちの暮らしとごみ」		
関連のあるSDGsのゴール	11, 12, 13, 14, 15	オンライン授業	■可 □不可
対応可能曜日	■平日 □休日 ■その他(月～金の祝日)		
対応時間	10時～15時		
年間実施上限数	年10回程度		
講座実施方法 ※()は場所等	■講義(屋内:パソコン、プロジェクターもしくはTVが利用できる教室) ■ワークショップ(イラストが描かれたカードを用いて、3Rのどれに当てはまるか考えるグループワーク)		
講座所要時間	45分 [講義(動画含む)30分・グループワーク15分]		
実施条件、必要な準備等	映写用スクリーンまたは、大きめのテレビ *スクリーンでスライド上映の場合は、プロジェクター		

プログラム内容

1. 講座の目的・ねらい

- ・海のプラスチックごみの現状とマイクロプラスチックについて、また3Rへの理解を深めたうえで私たちにできることを考え、気づき、ごみ問題を自分ごとにする。
- ・見方や実践によってごみも資源になる、それは自分次第ということに気づく。

2. 内容

- ・クイズ等を織り交ぜながら受講者の皆さんとコミュニケーションをとりながら進めます。
- ・受講対象年齢に応じて内容の調整ができますので、事前にご相談ください。

(1)前半:講義(30分)

パワーポイント(スライド)を使って、以下について説明。

- ・マイクロプラスチックについてとその被害状況
- ・3R(リユース・リデュース・リサイクル)の説明と実例の紹介

(2)後半:グループワーク(15分)

「リユース」「リデュース」「リサイクル」の実例を自分達で考えてもらう。

ごみとして捨てていたものを資源にするという発想の転換を体験。

グループワークを通じて、実生活の中での

3Rについての理解を深めてもらいます。

※パルシステムの3Rの動画を視聴後、

牛乳パックから作られたトイレト

ペーパーを実際に手に取ってみます。

